

# 記入例

年 月 日

(宛先) 秋田市長

住所又は所在地  
商 号  
代表者職・氏名  
電 話 番 号  
担当者職・氏名

【個人事業主】住民票に記載の住所  
※商号の記載は不要です  
【法人の場合】登記事項証明書に記載の住所

## 【中心市街地等空き店舗対策事業】事業計画書

中心市街地等空き店舗対策事業費補助金（中心市街地・都市機能誘導区域・商店街）の交付を受けたいので、下記のとおり事業計画を提出します。

記

- 1 事業計画書  
別紙のとおり
- 2 添付資料
  - ① 代表者の略歴
  - ② 誓約書
- 3 その他提出資料
  - ① 見積書
  - ② 住民票又は登記事項証明書
  - ③ 市税に未納がない証明書又は納税証明書
  - ④ 空き店舗等の位置を示した地図
  - ⑤ 図面および完成予想図（計画書に記載済みの場合は提出不要）
  - ⑥ 許認可証等の写し（後日取得する場合は、取得次第、速やかに提出すること）
  - ⑦ 空き店舗利活用推薦書

## 1 事業の概要

### (1) 出店の目的、動機について

出店するための動機や、どんなことをしたいと考えているのか記入してください

(例) イタリアで飲食業に 10 年携わり、自分が生まれ育った秋田の人たちに、本場のイタリアンを食べてもらいたいと考えるようになった。また、秋田の新鮮な魚介類を使用することで、地産地消で秋田を盛り上げたいと考えています。

### (2) 将来ビジョン（目標年後の売上高・利益と経営状態）

3

年後には、売上高が

35,000

円、経常利益が

6,500

円となる

経営状態としては、

経営状態は、設定した成長目標に至った時の会社の経営状態がどのようなものになっているのか記載してください。

(例)

飲食店営業で安定した生活基盤を確立し、二店舗目の出店も検討できる状態となる。

となる。

### (3) 店舗の概要

店舗名称	日本標準産業分類 における業種 ※中分類で記載		
	一般的な名称		
創業年月日 (開店予定日)	年 月 日 年 月 日	経営形態	( 個人・法人 )
店舗面積	m <sup>2</sup>	駐車台数	台
建物の階	階建ての 階		
営業時間	: ~ :	営業の中断 (中断の時間)	有 無
定休日	曜 日		( : ~ : )
従業員数	(常用) 人 (パート・アルバイト)	人 (合計)	人
中断の理由等			
主な取扱商品 ・サービス			
備 考			

※1 税務署への開業届(法人設立届)の写しを添付すること。

### (4) 店舗の賃貸借について

店舗の住所			
貸 主	(氏名)		
	(住所)		
賃貸借契約 締結予定年月日	年 月 日	賃貸借 開始予定日	年 月 日
月額賃借料	千円 (別途共益費がある場合 千円)		

### (5) 店舗の改装について

改装費見込額	千円		
改装に要する工期	年 月 日 ~	年 月 日	

(6) 店舗の宣伝広告について

年度内の見込み額記入をお願いします。

宣伝広告の方法						
宣伝広告費の見込額	<回数>	回				千円
宣伝広告の時期	年	月	日	～	年	月 日

(7) 設備のリースについて

設備の名称						
設備リース料見込額						
設備リース契約の期間	年	月	日	～	年	月 日

(8) 経営指導等について

指導の内容 ※2						
謝金見込額	事業計画作成指導	千円	経営指導	千円		
指導を受ける時期	年	月	～	年	月	

※2 経営指導等を受講した者であることを証する書面および指導内容の詳細がわかるものを添付すること。

(9) 必要資格・許認可等の取得状況について

事業に必要な資格・許認可等の名称	取得状況 ※3

※3 許認可等が必要な事業は、空き店舗利活用者本人の許可証、認可証、登録証等の写し（許認可等を申請中の場合にあつては、許認可等を行う機関等に受理された申請書の写し）を添付すること。

# 記入例

## 2 販売計画

項 目	内 容
1 基本 コンセプト	<p>◆秋田の食材で本場イタリアンパスタ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元野菜や無農薬野菜を積極的に取り入れた、美味しくかつ安全な食を提供します</li> <li>・地産地消推奨し、その日秋田港で水揚げされた魚介類を使用したパスタを提供します</li> <li>・秋田県健康人口を増やし、県内外の方に秋田の食材・食の素晴らしさを知ってもらいたい。</li> </ul>
2 ターゲット となる顧客	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美味しく、かつ栄養ある食事を取りたいと考えている方</li> <li>・秋田駅前であるため、買い物やイベント帰りの女性</li> <li>・秋田駅前付近で働いている 20 代～会社員</li> </ul>
3 対応する顧 客のニーズ	<p>◆健康志向の高まり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手軽に栄養をとりたい</li> <li>・もっと野菜をとりたい</li> <li>・非日常的な空間で食事を楽しみたい</li> </ul>
4 取扱商品・ サービス	<p>◆パスタ ＜パスタ＞常時 5 種類 ＜売れ筋＞朝どれ魚介のペスカトーレ</p> <p>◆ランチセット ＜パスタ＞日替わり 2 種類 ＜内容＞スープ、サラダ、日替わりパスタ、コーヒー/お茶</p> 
5 競合する商 品・サービ ス	<p>◆ランチ経営を行うにあたり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺飲食店やコンビニ</li> </ul>
6 競合商品・ サービスと の違い（強 みと弱み）	<p>◆唯一無二の商品提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田駅前で朝取れたばかりの魚介類をお昼のランチでイタリアンとして提供している店はない。</li> <li>・イタリアで 10 年シェフとして培ってきた腕前で、ランチ価格帯としては高価格帯となるが、他にはまねできない商品を提供できる</li> <li>・取れる魚介によってメニューが日々異なるため、飽きのこない料理を常に提供できる</li> <li>・時化の不漁のリスクを鑑みて、イタリア直送のハモンセラノー等を常備し、肉系のパスタも出せるように準備しておく</li> </ul>
7 商品・サー ビスの価格	<p>◆パスタ ＜価格帯＞850～1,200 円</p> <p>◆ランチセット ＜価格帯＞1,500 円</p>

8 広告、販売促進計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元雑誌での広告</li> <li>・Facebook, Instagram での情報発信</li> <li>・店舗 OPEN チラシの作成</li> <li>・(ランチタイム) ポイントカード作成</li> </ul>
9 アフターサービスの体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様には一度の来店で終わらないように、ランチタイム限定で割引チケットサービスを行う</li> <li>・ディナー来店のお客様には、事前予約でのご連絡で、バースデープレートのサービスを行う</li> </ul>
10 店舗づくり (雰囲気、接客等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔感があり、イタリアの漁師町にいるような内装に (白と青で統一感を出す)</li> <li>・調理風景が見えるオープンキッチン</li> </ul>
11 店舗の特徴 (ユニークさ、話題性等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田で唯一の朝どれ魚介類のイタリアンレストラン</li> <li>・イタリアで修行を積んだ、秋田に居ながらにして本場のイタリアンが楽しめる</li> </ul>

### 3 仕入計画

項 目	内 容
1 仕入の内容 (発注量、発注頻度、価格など)	<p>【パスタ関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆魚介類 発注量：1 週間平均 2kg 発注頻度：毎朝 価格：月 30 千円</li> <li>◆肉類</li> <li>◆乳製品</li> <li>◆オリーブオイル</li> </ul>
2 仕入先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ABC 商社 (イタリア食材商社)</li> <li>・地元契約漁師</li> <li>・DEF 株式会社</li> </ul>
3 決済方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現金 銀行振り込み</li> </ul>
4 在庫管理・商品管理方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷凍冷蔵保存 (野菜・肉・魚介類・ワイン)</li> <li>・常温保存 (根菜・調味料)</li> </ul>

## 4 資金計画書

(単位：千円)

必要な資金	金額	資金調達の方法	金額
1 店舗など (内訳)	<p style="text-align: center;"> <b>設備資金</b>＝開業時必要な資金。不動産の購入費用、店舗・事務所を賃借する際の敷金・礼金・保証金などの初期費用、改装費用、設備・什器備品等の購入費用など。(業者からの見積書など、根拠となる資料を用意してください)                 </p>	1 自己資金	<p style="text-align: center;">ご自身が準備されてきた、自己資金の金額を記入します。</p>
2 機械、備品、車両等 (内訳)		2 その他 (内訳)	
3 運転資金 (内訳)		3 借入金 (内訳・返済方法)	<p style="text-align: center;">金融機関・親類・知人などから借入を記入してください</p>
合計		合計	

**運転資金**＝開業後、事業を運営していく際に必要となる資金。  
 (EX) 商品・材料の仕入代金、広告宣伝費、人件費、アルバイト、リース、金利などの諸経費

## 5 損益計画書

(単位：千円)

項目		前年度実績	1年目	2年目	3年目
①売上高					
②売上原価					
③売上総利益(③=①-②)					
④固定経費合計					
固 定 経 費	人件費				
	賃借料				
	リース料				
	広告宣伝費				
	光熱水費				
	交際費				
	消耗品費				
	⑤減価償却費				
	租税公課				
	保険料				
	支払利息				
	その他				
⑥利益(所得)(⑥=③-④)					
⑦返済財源(⑦=⑤+⑥)					
⑧返済額					
⑨内部留保額(⑨=⑦-⑧)					

会計年度で計算して下さい  
 (例) 8月 Open で決算が12月の場合、5ヶ月分の数字を記入。

# 記入例

売上高、売上原価、経費等の積算内訳(単位:千円)					
1 年 目	営業形態	積算根拠	月間売上	年間売上 (8月～12月)	
	ランチタイム	客単価 1,200 円×客数 5 名×1 回転×25 日	150	750	
	ティータイム	客単価 800 円×客数 5 名×1 回転×25 日	100	500	
	ディナータイム(平日)	客単価 4,000 円×客数 5 名×1 回転×17 日	340	1,700	
	ディナータイム(金土)	客単価 4,000 円×客数 8 名×2 回転×8 日	512	2,560	
	合計			1,102	5,510
	※店舗内客席数は 15 席。一ヶ月の営業日数は 25 日間				
	経費	積算根拠	月間経費	年間経費 (8月～12月)	
	材料仕入	原価 40%で算出	435	2,175	
	専従者給与		150	750	
賃借料(共益費含)		80	400		
水道光熱費	ガス 40,電気 40、水道 40	120	600		
減価償却費		21	105		
通信費	インターネット利用等	20	100		
その他	広告宣伝、消耗品費、交通費、租税公課	50	250		
合計			876	4,380	
2 年 目	営業形態	積算根拠	月間売上	年間売上 (1月～12月)	
	ランチタイム	前年計画×120%	180	2,160	
	ティータイム		120	1,440	
	ディナータイム(平日)		408	4,896	
	ディナータイム(金土)		614	7,373	
	合計			1,322	15,869
	経費	積算根拠	月間経費	年間経費 (1月～12月)	
	材料仕入	原価 40%で算出	435	5,220	
	専従者給与		150	1,800	
	賃借料(共益費含)		80	960	
水道光熱費	ガス 40,電気 40、水道 40	120	1,440		
減価償却費		21	252		
通信費	インターネット利用等	20	240		
その他	広告宣伝、消耗品費、交通費、租税公課	50	600		
合計			876	10,512	

## 6 資金繰計画書

(単位：千円)

項目	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
売上高												
仕入高												
前期繰越高 A												
収入	現金売上											
	売掛金入金											
	合計 B											
支出	買掛金決済											
	現金仕入											
	人件費											
	経費											
合計 C												
(A+B)-C 差引過不足 D												
財務	短期借入金											
	長期借入金											
	財務収入 E											
	短期借入返済											
	長期借入返済											
財務支出 F												
D+E-F 翌月繰越 G												
残高	売掛金											
	買掛金											

7 地域貢献について ※空き店舗を利活用する場合記入してください。

(1) 中心市街地の活性化のために取り組みたいと考えていることをお書きください。

(例)

秋田の中心市街地により飲食店があることをアピールするために、地元の食材を使用したメニューを作り、県外にPRしたい。

(2) 商店街のにぎわい創出や環境整備のために取り組みたいと考えていることをお書きください。

(例)

商店街で開催される夏まつりなどのイベントに積極的に参加し、周辺のお店と協力体制をとりながら新しい企画もチャレンジしたい。

(3) 空き店舗利活用推薦書の推薦いただいた団体への加入意志はありますか。

はい ・ いいえ

この事業計画書は、私の指導のもと作成したことを証明します。

年 月 日

住所

---

商号

---

氏名

---

商工会議所や中小企業診断士等、事業計画書を作成する際に指導頂いた方に記入していただ  
いてください

(添付資料①)

年 月 日

(宛先) 秋田市長

住所又は所在地  
商 号  
代表者職・氏名

代表者の略歴について

生年月日	昭和・平成 年 月 日 (満 才)
職歴/学歴	最終卒業学校名：
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

以上

年 月 日

(宛先) 秋田市長

住所又は所在地  
商 号  
代表者職・氏名

### 誓 約 書

中心市街地等空き店舗対策事業の事業計画書の提出に当たり、次の事項が真実であることを誓約します。

また、誓約が虚偽であり、又はこれに反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てないことを誓約します。

- 1 当社（私）は、過去に本事業および他機関による同様の事業を利用していないことを確約します。
- 2 当社（私）は、空き店舗等が存する商店街団体等の構成員となり、商店街活動に積極的に参加します。
- 3 当社（私）は、秋田市暴力団排除条例（平成 24 年条例第 10 号）第 2 条に規定する暴力団、暴力団員又はこれらの者と密接な関係を有する者に該当しないことを確約します。
- 4 当社（私）は現在、訴訟による係争はなく事業運営に支障のないことを確約します。
- 5 当社（私）は現在、法令違反による処罰を受けておらず事業運営に支障のないことを確約します。
- 6 当社（私）は、補助事業期間中および補助事業期間終了後も、本事業を実施していく上で法令を順守することを確約します。
- 7 当社（私）は、交付決定となった場合、秋田市ホームページへの公表を許可する事を確約します。

(責任者)

職名・氏名  
電話番号  
E-mail

(担当者)

職名・氏名  
電話番号  
E-mail